

一般質問

町政を問う!

第3日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



藤沼 英之 議員 (11ページ)

- ① 第7次芳賀町振興計画の進め方、考え方について



古谷 康典 議員 (12ページ)

- ① 道の駅について
- ② かしの森公園について



山口 菊一郎 議員 (13ページ)

- ① 地域活性化について
- ② 子育て支援について



中村 由美子 議員 (14ページ)

- ① 中学校の登下校について
- ② スポーツ振興について

次回の定例会は
12月2日からの予定です。

多人数の傍聴の際は事前に事務局へご相談ください。

議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

藤沼英之が問う

第7次芳賀町振興計画の考え方、進め方について



問 第7次芳賀町振興計画の基本計画で町長の公約をどのように反映させるのか。

答 町長 町政の運営方針として3つの公約を掲げています。1つ目は町民の皆様のニーズを反映した振興計画を掲げ、策定を進めました。2つ目は最小の経費で最大の効果を生むよう行財政改革に取り組みます。3つ目は芳賀町役場を笑顔のある職場にし、町民の皆様から信頼される組織にします。

基本計画には分野別計画のほか、5つの重点プロジェクト(公共交通利活用プロジェクト・持続可能プロジェクト・定住促進プロジェクト・健康促進プロジェクト・子育て応援プロジェクト)を設定し、第7次芳賀町振興計画実現のため取り組みを開始しています。

問 令和6年度から9年度までの基本計画、令和6年度から8年度の実施計画をどのように進めるのか。

答 町長 町を取り巻く重要課題を的確に捉えながら、3つの将来像「住みやすいまち」「活気あふれるまち」「持続できるまち」を掲げ、この3つの将来像を実現するため、11の重点項目を設定しています。さらに26の基本施策と43の施策に分類し、基本計画の分野別計画としています。この分野別計画は、特に町が役割を果たすべき手段を施策として示したもので、その業務を各課・各係に割り当て事業の推進を図っています。それぞれの施策の進捗度を見るため、毎年、行政評価の手法を使って施策評価を行い、PDCAサイクルによる評価改善を進めます。実施計画については毎年9月から10月にかけてヒアリングを行い、翌年度から3カ年の事業の見直しを立てています。

年度ごとに議会の議決をいただいて予算の執行を図り、基本構想の目指す芳賀町の姿「スーパースマートタウン～幸せを実現できるまち～」を実現してまいります。

問 43の施策では成果指標として、NSI値による目標値の設定をしています。この町民満足度調査を今後どのように活用されるのか。

答 町長 この満足度調査は対象者が不特定多数となり、必ずしもそれが結果に結びつくものではなく、町民の皆様の意向ということで使わせていただっていますが、非常に使いにくい、結果の出にくい、そういう項目があるのも事実だと認識しています。目標値にとらわれることなく、さらに高まるように努力してまいります。

この満足度調査は平成17年度から始まり、その後もいろいろ工夫しながらやってきました。その中で本当にこの満足度調査だけでいいのか、もっと違った視点で、新たな指標を考える必要があるのでは、と企画課では既に研究が始まっています。

デジタル庁が中心で地域幸福度、ウェルビーイング指標が既に公表されていますので、そういうものを使うことも庁議の中で検討しています。今後さらに充実するように取り組みたいと考えています。

「幸せを実現できるまち」として、子どもからお年寄りまで多様な幸せを実現できるまちを目指してまいります。



▲基本構想の目指す芳賀町の姿
「スーパースマートタウン ～幸せを実現できるまち～」